

評価項目				評価課題	コメント
大項目	中項目	小項目	指標		
求 職 者 訓 練	1 訓練内容 必要な技能・知識を習得させるための訓練内容が設定され、実施されている	(1)生活指導 あいさつができる、遅刻・欠席が少ないなど、生活指導が適切である	出席率 90%以上	(a) b c 出席率平均97.6%	○技能習得の過程において、職業人としての基礎を身に付けることを目標としている。訓練内容面では、「道具の扱い」「木の加工」という基本作業の習得に努めている。
		(2)訓練生満足度 訓練内容に対し、訓練生の満足度が高い	満足度 90%以上	(a) b c 満足度平均100%	
	2 応募・合格・入校状況 入校者が定員を充足している	(1)応募状況 応募倍率が1.25倍以上である	応募倍率 1.25倍以上	a (b) c 応募倍率1.17倍	○幅広い年齢層からの応募がある。 ○他の科目に比べて女性の応募者が多い。 ○県外からの応募者も多い。
		(2)入校状況 入校者が定員を充足している	入校率 100%	a (b) c 入校率96.7%	
	3 就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と連携を図り、雇用情勢の情報収集や訓練生に対する相談、指導等の就職支援がなされている	(1)就職状況(確定値) 就職率が100%である	就職率 100%	a (b) c 就職率84.0%	○就職活動を早めに進めるように指導して意識を高めた。 ○会社説明会の積極的な開催や修了生に話をしてもらうなど、関連業種への就職率が低い状況を改善して行きたい。
		(2)就職状況(追指導最終値) 就職率が100%である ※ 前年度修了者	就職率 100%	a (b) c 就職率95.5%	
		(3)就職状況 訓練関連率(訓練を活かした就労率)が80%以上である	関連就職率 80%以上	a (b) c 関連就職率66.7%	
	4 資格取得状況 訓練科ごとに適切な資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	資格取得状況 訓練科ごとに適正資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	合格率 全国平均以上	a b c 評価なし	○取得可能な資格はない。

a:優れている b:良好である c:改善を要する

### 総合評価

A:優れている B:良好である C:一部改善を要する D:総合的な見直しを要する

a評価が2項目に止まっているため、総合評価はCとする。  
出席率、満足度がa評価に対して、応募倍率がb評価については、木工工芸科の魅力が十分に募集へとつながっていないと言える。一方、b評価の就職状況については、特に関連業種への就職率が低い。今後は、会社説明会の積極的な開催や修了生に話をしてもらうなど関連業界のイメージが湧きやすい就職指導をしていく。  
訓練内容としては、基礎技能の習得を目標としつつ、後半の家具製作において、訓練生個々の興味・志望や就職先に対応した課題を設定して訓練生のニーズに応えている。地域へのPRと、作品を通した使い手との繋がりを訓練生に自覚させることを目的に訓練生が製作した作品の展示即売や、訓練生主体の木に関わるイベントを開催するなどしている。  
今後もこうした取組により応募倍率向上につなげていきたい。

※ 評価をA又はD評価とする場合は、必ず評価理由を記載する。